

入試問題にチャレンジ！（1年 関係を表す式）

【栃木県立入試問題】

4 1個 x 円のパンを7個と1本 y 円のジュースを5本買ったところ、代金の合計が2000円

以下になった。この数量の関係を不等式で表しなさい。

令和5年度

A 地点から B 地点まで、初めは毎分 60 m で a m 歩き、途中から毎分 100 m で b m 走った

ところ、20 分以内で B 地点に到着した。この数量の関係を不等式で表しなさい。

令和3年度

100 個のいちごを 6 人に x 個ずつ配ったところ、 y 個余った。この数量の関係を等式で表しなさい。

令和2年度

1 個 x g のトマト 6 個を y g の箱に入れると、重さの合計が 900 g より軽かった。この数量の関係を不等式で表しなさい。

平成30年度

ある水族館の入館料は、大人 1 人につき a 円、子ども 1 人につき b 円である。大人 3 人と子ども 8 人でこの水族館に行ったところ、入館料の合計は 4000 円より高かった。この数量の関係を不等式で表しなさい。

平成28年度

a 本の鉛筆を 1 人 4 本ずつ b 人に配ったら 10 本以上余った。この数量の関係を不等式で表しなさい。

平成27年度

1 個 x 円のりんご 5 個と 1 個 y 円のみかん 6 個を買うと、代金の合計は 1000 円より安い。この数量の関係を不等式で表しなさい。

平成25年度

a を 4 で割ったら、商が b で余りが 1 であった。 a を b を用いた式で表しなさい。

平成21年度

1 個 60 円の消しゴム a 個と、1 本 100 円のボールペン b 本の代金の合計を、 a , b を用いた式で表しなさい。

平成20年度

R 5 $7x + 5y \leq 2000$

R 3

$$\frac{a}{60} + \frac{b}{100} \leq 20$$

R 2

$$100 - 6x = y$$

H 3 0

トマト 6 個の重さは, $6x$ g だから, 箱との重さの合計は, $6x+y$ (g)
これが 900g より軽いのだから, $6x+y < 900$

H 2 8

大人 3 人の入館料は, $a \times 3 = 3a$ (円) 子ども 8 人の入館料は, $b \times 8 = 8b$ (円) 入館料の合計が 4000
円より高いから, $3a + 8b > 4000$

H 2 7

(a 本の鉛筆を配ったときの余りの鉛筆の数) ≥ 10 より, $a - 4b \geq 10$

H 2 5

(りんご 5 個の代金) + (みかん 6 個の代金) < 1000 円より, $5x + 6y < 1000$

H 2 1

(割られる数) = (割る数) \times (商) + (余り) にあてはめると, $a = 4b + 1$

H 2 0

消しゴムの合計代金が $60a$ (円), ボールペンの合計代金が $100b$ (円) なので, 支払う代金の合計
は, $(60a + 100b)$ 円となる。